

## 令和元年度 卒業式 学長式辞

ただ今、卒業証書・学位記を授与された二二七名の第五十三期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

令和の時代を迎えて初めてのそして、ウィルス感染防止のためにいつもとは異なる形となった卒業式ですが、皆さんの晴れやかなお姿が嬉しく心からのお祝いを申し上げます。

今朝玄関でみなさんの最後の登校を色とりどりのチューリップと共に並んで迎えた、ピンク色の長崎短大の上り旗には、「見つかる自分 つながる未来」というキャッチコピーがあります。

このコピーそのままに、今日、卒業証書を手にしたすべての方が、本学での学びを通して、自分を見つめ自分の良さに気づき、身につけた専門の知識や技術を社会に活かしながら、自分の力で確かな未来を築いていかれることを学長として期待しています。

さて、短縮版卒業式のはなむけの言葉として、短いメッセージを送ります。

今回の新型コロナ・ウィルスの流行で得体の知れないものへの不安が今、世界中に広がっています。不安を煽るデマや流言がネット等には飛び交い、それによって傷つく人や、自分勝手なふるまいをする人が増えています。

こんな時には、こんな時こそ、他者への配慮を忘れてはならない。他者の気持ちや立場を想像する感性と、冷静な行動が強く求められていると思います。

「情けは人のためならず」、情け、つまり、人を思いやる心は、相手を幸せにするだけではありません。もう一度言いますね、「情けは人のためならず」。我（が）を押さえて、人に尽くしたことは、巡り巡って、自分に返ってくると昔の人は教えているのです。

今のような非常事態の時に限らず、この先の人生、わが長崎短期大学の卒業生の皆さんには、相手を思う優しさでまわりをほっこり和ませ、喜ばせ、それによって、まわりから幸せをもらおう、そんな温かな日々をずっと紡いでいってほしいと願います。

そして、そう、この長崎短大も、いつもほっこりとした雰囲気 皆さんをお迎えしたいと思っています。卒業してからもまた長崎短大を訪ねてみてください、待っています。

それでは、さようならお元気で。

みなさんのお幸せを心より願って学長式辞といたします。

令和2年3月7日

長崎短期大学 学長 安部恵美子